

三島中だより 12月号

ゆめ はぐく えがお あ あい がっこう
夢を育み、笑顔に会える、愛いっぱいの学校 茨木市立三島中学校

三島中学校がめざす生徒像

自律・友愛・創造

2年1組学級通信

十人十彩

～みんなだから
チカラになれる～

『文字が読めない教師』という言葉から、どんなことをイメージする? そんな問いかけから始まった、学びの時間、東海テレビのドキュメンタリーCM『見えない障害と生きる。』を見て考えました。普通って何なのか。自分の中に「これが普通」という固定概念が、誰かをしんどくさせてしまっていないか?

みんなのふりかえりです。
「フツ」という言葉は本当に人を傷つける凶器のようなものだと思います。自分も常日頃「フツ」と思わないうちにしています。レ「フツ」といわれると腹がたります。けど、「文字が読めない教師」という言葉を聞いたときに、なぜ教師をしているのだろうと思ってしまいました。まだまだ自分から「フツ」という考えがとれていないと分かりました。それでも「フツ」と「アツ」という考えをとり除いていけばいいと思いました。

右に載せているのは、毎年クラスで紹介している詩。

まな つづ 学びを続けること

授業とは、『学問・技術などを教え授けること』です。生徒の皆さんは、これを受けることになります。皆さんが今、持っている知識から、新しい知識を構築(基礎の構えから始めて全体を築くこと)することを、共通の時間、空間(教室等)で取り組んでいます。新しく得られた知識を使うこと(自学自習)や誰かに伝えること、説明することによって、より確実に正しい知識理解になります。様々な知識は、生きていく上での自己実現をより正確に可能にしてくれます。これらの知識は、学ぼうと行動し続ける限り、得ることができます。ともに学びを続けていこう!

『生命はすべてその中に欠如を抱き、それを他者から満たしてもらおう』本当にそんなのかもしれないと思います。必要は場面であたりまえにサポートはある、足りない部分をフォローしあえる集団になろうね!

生命は
自分自身だけでは完結できないように
つくられているらしい
花も
めしべとおしべがそろっているだけでは
不十分で
虫や風が訪れて
めしべとおしべを仲立ちする
生命はすべて
その中に欠如を抱き
それを他者から満たしてもらおうのだ
私は今日、どんな花のための
虫(あぶ)だったかもしれない
そして 明日は
誰か 私という花のための
虫であるかもしれない。
「生命は」吉野弘 詩集より



ぱちパチPachi

学校目標: 個性豊かで笑顔いっぱいのクラス

1年4組 学級通信
2023年8月25日(金)
第26号
発行所: 河野 友輝

ゴウ! みんなとがんばりたいこと
1学期、ゴウ! はたくさん反省が
ありました。その都度4組のみんなに
助けてもらいました。「せんせー、○○
やっとか?」「ロロやっとか?」「
など、あげだしたらキリがありません!
本当にありがとう!

そんなゴウ! を甘やかしてくれる
4組のみんなとともに、2学期
一緒に頑張りたいことがありま
す。それは、

ほん 凡事徹底

です。

